

2022年4月より JIFF インクルーシブ教育プログラム（オンライン）の提供を開始 小・中学校からの申し込み受付スタート

一般社団法人日本障がい者サッカー連盟（会長：北澤豪、以下 JIFF）は、2022年4月1日より小・中学生を対象とした体験型授業「JIFF インクルーシブ教育プログラム」の提供を開始いたします。コロナ禍のため当面はオンラインでの授業実施とし、本日2月28日より小・中学校からの申し込みを受け付けます。

本プログラムは、オンライン・45分で行う体験型の授業で、障がい者サッカー選手が登壇し行われます。障がい者スポーツ・サッカーにある道具やルールの工夫、競技力向上や日常生活の中の工夫などを伝え、差別や偏見が生まれる前の小・中学生に向けて障がい理解や多様性への気づき促す教育的アプローチです。現在はデフ（聴覚障がい）、ロービジョン（視覚障がい／弱視）のプログラム実施が可能で、今後他の障がい種別*のプログラムも提供できるよう拡充していきます。

*=日本国内には、障がい種別ごとにアンパティサッカー（切断障がい）、CPサッカー（脳性麻痺）、ソーシャルフットボール（精神障がい）、知的障がい者サッカー／フットサル（知的障がい）、電動車椅子サッカー（重度障がい）、ブラインドサッカー／ロービジョンフットサル（視覚障がい）、デフサッカー／フットサル（聴覚障がい）があります。

JIFFでは、2019年より本プログラムのトライアルを実施してきており、2021年11月からは株式会社マネジメントソリューションズ（代表：高橋信也）を「教育コンテンツ開発パートナー」および「サプライサービスパートナー」に迎え、事業化に向けて準備を進めてきました。本プログラムを全国に広げていくことを通じて、共生社会の実現を推進していきます。



■JIFF インクルーシブ教育プログラムについて

小・中学生を対象に、障がい者サッカー選手が登壇し行う体験型授業です。障がい者スポーツ・サッカーにある道具やルールの工夫、競技力向上や日常生活の中の工夫などを伝え、差別や偏見が生まれる前の小・中学生に向けて障がい理解や多様性への気づきを促します。障がい者への心のバリアをつくらない、あるいは取り除くことで社会にある「障害」をなくし、共生社会の実現に繋がっていきます。

<https://www.jiff.football/special/educationprogram/>

■一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟について

日本障がい者サッカー連盟は、7つの障がい者サッカー競技団体の活動をサポートする中間支援組織です。公益財団法人日本サッカー協会（JFA）の加盟団体で、JFAと協働し、ビジョンの実現と7つの障がい者サッカー団体の強化・普及の促進を目指し、活動しています。

<https://www.jiff.football/>

以上

【お問い合わせ先】一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟 事務局

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り JFA ハウス

TEL.03-3818-2030 / MAIL. jiff_info@jfa.or.jp / <https://www.jiff.football/>